

# 社会資本総合整備計画 事後評価

安心・安全のまちづくりと橿原市らしい  
快適で良好な住環境の整備

平成26年5月

奈良県 橿原市

評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県	市町村名	橿原市	計画期間	平成22年度～平成25年度	全体事業費	553,942 千円
計画名	安心・安全のまちづくりと橿原市らしい快適で良好な住環境の整備						
計画目標	『住宅・建築物の耐震化、住宅市街地の防災・防犯対策を推進することにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。』 『公営住宅等長寿命化計画に基づく建替え事業や今井町重要伝統的建造物群保存地区内において電線地中化事業や街路灯・水路整備事業のほか建物の修景施設整備等を実施することにより、快適な住環境の整備と景観・環境に配慮した橿原市らしい良好な住環境の保全を図る。』						

1) 事業の実施状況	事業名	削除・追加した理由		削除・追加による指標等への影響		
1) 事業の実施状況	基幹事業	1-A1-1	今井町地区街なみ環境整備事業			
		1-A1-2	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅整備事業等）			
		1-A1-3	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業[四条団地等]）			
		1-A1-4	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等[小規模住宅地区改良事業]）			
		1-A1-5	地域住宅計画に基づく事業（住宅・建築物安全ストック形成事業）			
		1-A1-6	住宅・建築物安全ストック形成事業	移行・継続	H25年度に県計画へ移行	なし
		1-A1-8	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等[改良住宅ストック総合改善事業]）	追加	H25年度に1-A1-3から分離	なし
		1-A1-8	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等[改良住宅ストック総合改善事業]）	追加	H25年度に1-A1-3から分離	なし
	関連社会資本整備事業	1-B1	今井東地区道路整備工事	追加	H23年度に事業の見直しによる追加	なし
		1-B2	今井東地区舗装工事	追加	H23年度に事業の見直しによる追加	なし
	効果促進事業	1-C-4	住宅建築無料相談事業	移行・継続	H25年度に県計画へ移行	なし
		1-C-5	防犯灯設置事業	移行	H24年度に1-C-11事業へ移行	なし
1-C-6		青色パトロール隊活動支援				
1-C-8		公営住宅管理システム	追加	H24年度に事業の見直しによる追加	なし	
1-C-10		既存住宅耐震改修補助事業	移行・追加	H24年度に事業の見直しによる追加 H25年度に県計画へ移行	あり	
1-C-11		防犯灯設置補助事業	追加	H24年度に1-C-5から転換	なし	
1-C-12	公営住宅整備計画策定業務委託	追加	H25年度に事業の見直しによる追加	なし		
交付期間の変更	当初	平成22年度	～	平成25年度	変更	—



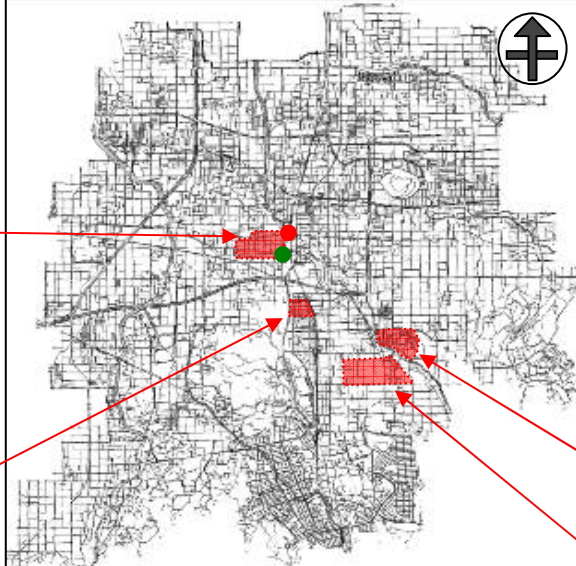


2) 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	当初現況値	最終目標値	最終評価値	達成度※	達成見込みの有無		所見（効果発現要因等）
			H22当初	H25末	H25末		あり	なし	
指標1	歴史的住環境整備・保全が行われている今井町地区への来訪者数	人	33,120	37,000	33,947	△	●		今井東地区において、電線類の地中化事業や道路の美装化・修景事業等が進み、今井町の玄関口としての整備が完了したことにより、歴史的な資産価値のある住環境が担保されるとともに、より良好な景観が形成されたことで、今井まちなみ広場駐車場の利用者数が順調に伸びてきていることから、来訪者数は増加していると推測される。

2)社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標2	長寿命化計画に基づく整備率	%	0	86	78	△	●	<p>福原市の公営住宅等は同年代に建てられたものが多く、老朽化が著しく、近い将来、建替え時期を迎えるものが数多くある。しかしながら、高齢者の入居が多い公営住宅においては、建替えするよりも住みながらにして改装ができ、財政的にも有利である既存ストックを活用をすべく、本市では、H22年度に公営住宅等の長寿命化計画を策定し、当該計画に基づき事業を進めている。</p> <p>H23年度において、住居内工事を理由に工事を断われた住戸が予想外に多くあったため、目標としていた整備率には到達しなかった状況である。今後入居者との調整等を図りながら、公営住宅等の長寿命化を促進する。</p>
	指標3	耐震性が確保された住宅の割合	%	77	85	※	△	●	<p>住宅の耐震診断の申請は概ね予定件数に達しているが、耐震改修が必要な住宅に居住する方は高齢者が多く、高齢者にとっては耐震改修に係る費用負担が大きく実施に至らない場合が多い。現段階においては耐震化率が目標値には達していないと予測される。</p> <p>東日本大震災発生以降、耐震に関する相談は増えてきており、住民の耐震化への意識が高まってきていると言えるが、まだまだ認識していない方も多く、また、制度の周知が行き届いていないというも耐震化率が伸びない一因であると考えられる。</p>
	指標4	市民アンケート調査による住宅環境の整備に対する満足度	%	21.5	25.0	54.4	○	●	<p>公営住宅等の長寿命化事業や民間住宅の耐震化により、住宅環境の整備は着実に進んでいる。</p> <p>防犯灯の設置は夜でも安心して通行でき、防犯上有効であることから住宅環境の改善に大きく貢献している。また防犯灯の設置件数が増えてきているのは市民の防犯意識が高まりつつあると考えられる。</p> <p>市民アンケートは、社会資本総合整備計画全体を通じて実施しており、当整備計画を含む複数の計画を推進したことにより、住宅環境に関する高い評価が得られたと考えられる。</p>

※達成度 ○:評価値が目標値を達成、あるいは上回った場合 △:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合 ×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

3) - 1 その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		数値 (事後評価時)	所見 (効果発現要因等)
				基準年度		
その他の指標	耐震改修補助金交付件数	戸数	0	H22	25	耐震化した実戸数が把握できる数値として、補助金交付件数を確認。費用負担、軽減による耐震化戸数の向上が期待できる。

3) - 2 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	防犯灯を設置することにより、通行上の安心感、自治会における防犯意識が向上した。
-----------------------------	---

<p>4) 地区の概要</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>1-B1 今井東地区道路整備工事 ●</p> <p>1-B2 今井東地区舗装工事 ●</p> <p>1-A1-1 今井地区街なみ環境整備事業</p>  <p>1-A1-3 公営住宅等ストック総合改善事業 長寿命化事業四条団地等改修</p>  </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>1-A1-4 住宅地区改良事業 小規模住宅地区改良事業</p> <p>1-A1-5 住宅・建築物安全ストック形成事業地域住宅計画個人宅補助</p> <p>1-A1-6 住宅・建築物安全ストック形成事業耐震診断、改修計画補助</p> <p>1-C-4 住宅建築無料相談事業</p> <p>1-C-8 公営住宅管理システム</p> <p>1-C-10 既存住宅耐震改修補助事業</p> <p>1-C-12 公営住宅整備計画策定業務委託</p> <p>1-A1-2 公営住宅整備事業等</p> <p>1-A1-8 改良住宅ストック総合改善事業 飛驒改良住宅等改修</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: right;"> <p>1-C-5 防犯灯設置事業</p> <p>1-C-11 防犯灯設置補助事業</p>  <p>1-C-6 青色パトロール隊活動支援</p>  </div> </div>	
<p>5) 総合所見</p>	<p>整備計画の核となる基幹事業及びそれに伴う関連社会資本事業・効果促進事業においては、概ね順調に事業が進んでいる。しかしながら、目標に達していない事業や、時期を延期している事業もあることから、今後の状況等に応じて精査する必要がある。 整備計画の名称である【安心・安全のまちづくりと樺原市らしい快適で良好な住環境の整備】の目標を達成するため、各種要素事業を引き続き着実に進めることが重要である。</p>	
<p>6) 今後の方策</p>	<p>一般住宅・建築物等の耐震化の促進が図られるように、今後は、周知啓発活動をよりいっそう行い、住民の耐震化への意識の高揚に努めるとともに、制度の活用を推進する。公営住宅等については長寿命化計画に基づいた事業を進めていくが、財政状況や老朽化の進行具合等を考慮し、優先順位を決めて事業の進捗を図る。 また、今井地区における住環境の整備として、今後も引き続き、電線類の地中化事業や修景事業を進めるとともに、「今井町並み散歩」「Hanarart」など地元まちづくり団体との協力を得ながら、魅力ある街づくり事業を進め来訪者の増加につなげていく。</p>	